



ボートレースからつ マネジメントプラン2026



唐津市モーターボート競走事業

(令和8年2月)

目 次

はじめに	
策定の趣旨	1
第1章 現状と課題	
1. 売上及び入場者の状況	2
2. 費用分析	9
3. 課題	12
第2章 基本方針と経営計画	
1. 基本方針	13
2. 計画のイメージ	14
第3章 課題解決に向けた取り組み	
1. 施策体系図	15
2. 重点政策への取り組み	19
3. 施策実施による目標設定	25
4. 主な施設の整備計画	35
5. 施設整備計画	36
第4章 収支見通し	
1. 試算条件	38
2. 収益的収支計画	39
3. 資本的収支計画	40
4. 内部保有資金残高	40

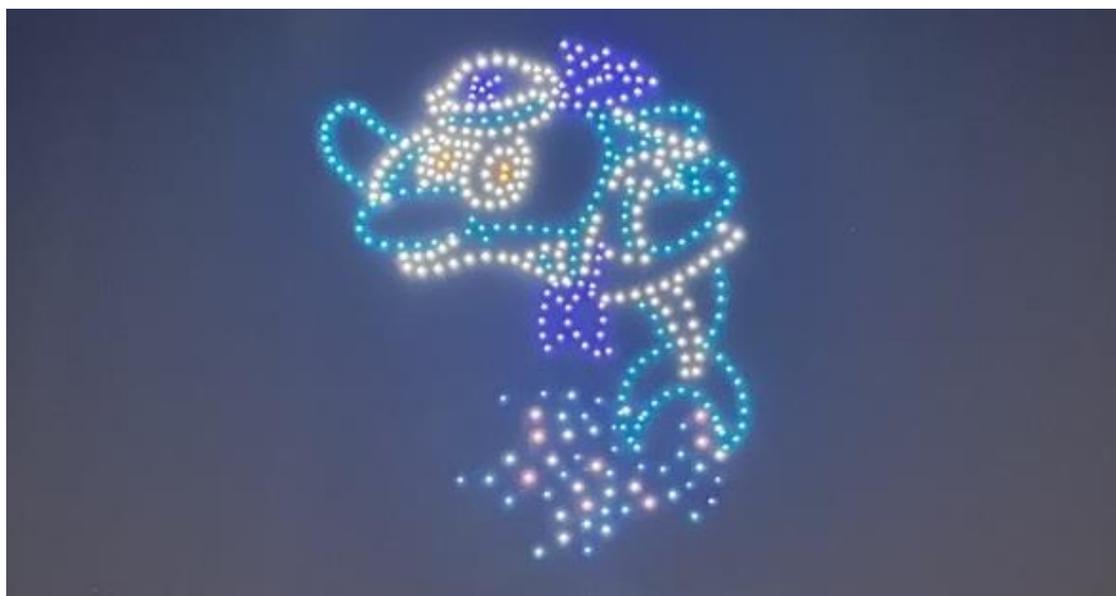
策定の趣旨

ボートレースからつは、昭和28年8月に初開催し、昭和50年に現在地へ移転、令和3年にスタンド棟を改修し、幅広い世代の人が利用できる施設へと生まれ変わりながら今年で73周年を迎えました。

開設当初よりモーターボート競走事業の主たる目的である地方財政への貢献に取り組み、累計940億円余を唐津市へ繰出してまいりました。

ボートレース業界全体で見ても売上は好調を維持していますが、人件費や物価上昇が続く中において今後も事業を継続し、安定的な収益を確保していくためには、売上目標、施設改修計画や、資金運用について定めた総合的な計画が必要不可欠です。そのため、平成28年3月に策定した「ボートレースからつマネジメントプラン」（以下「マネジメントプラン」という。）を毎年度現状に即して見直しを行っています。

本書では、「マネジメントプラン」に掲げた施設整備計画や収支見通しについて、取組内容の実績と現状分析を踏まえた次年度以降の中期的見通しを示すとともに、経営方針である「安定的な収益の確保」と「地域への貢献」の実現に向けた取り組みを記しています。



（オータムカーニバル ドローンショー）

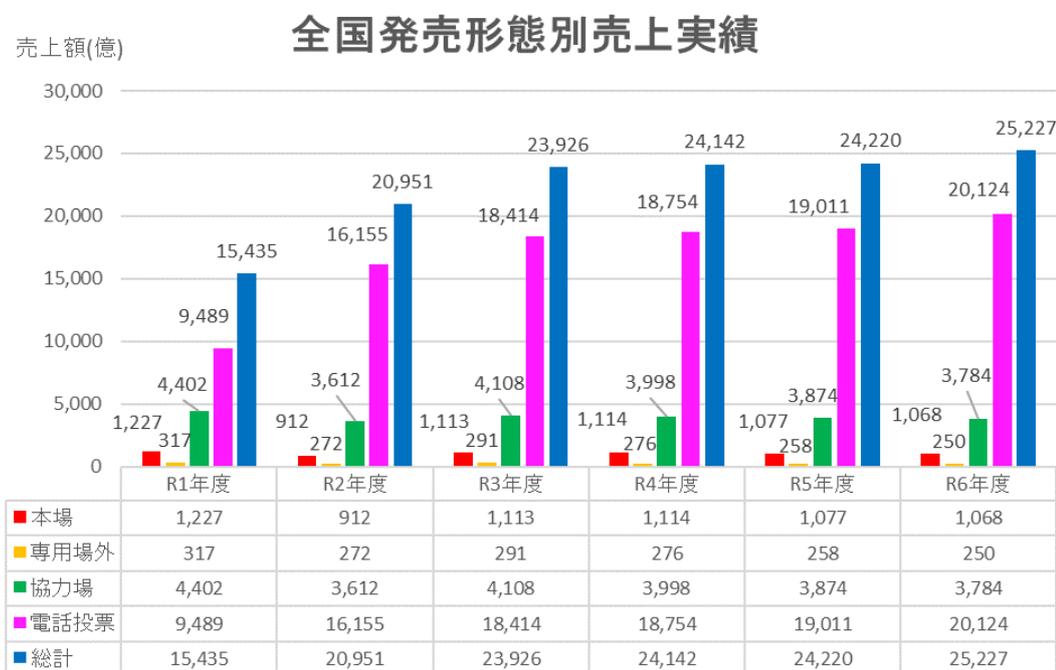
（令和7年11月23日）

1. 売上及び入場者の状況

①全国の売上と入場者状況

令和6年度のボートレース全体の総売上額は2兆5,227億円で前年度比104.2%と増加しており、史上最高額を4年連続で更新しました。発売形態別に前年度比をみると、本場売上が99.2%、電話投票(=インターネット投票)売上が105.9%、専用場外売上が97.0%、協力場(場間場外)売上が97.7%、全国の本場入場者数は614万2,531人で前年度比101.8%となりました。

売上増加の要因として、「PGIスピードクイーンメモリアル競走」の初開催やミッドナイトレースの開催日数の増加等が考えられます。



■本場 ■専用場外 ■協力場 ■電話投票 ■総計

【用語の説明】

- ・専用場外 → ボートレースの各施行者が設置した、舟券の発売機能に特化した施設（ボートレースチケットショップ=BTS）のことです。
- ・協力場 → 他のレース場の舟券を発売しているレース場とBTSのことです。「場間場外」と呼ぶこともあります。

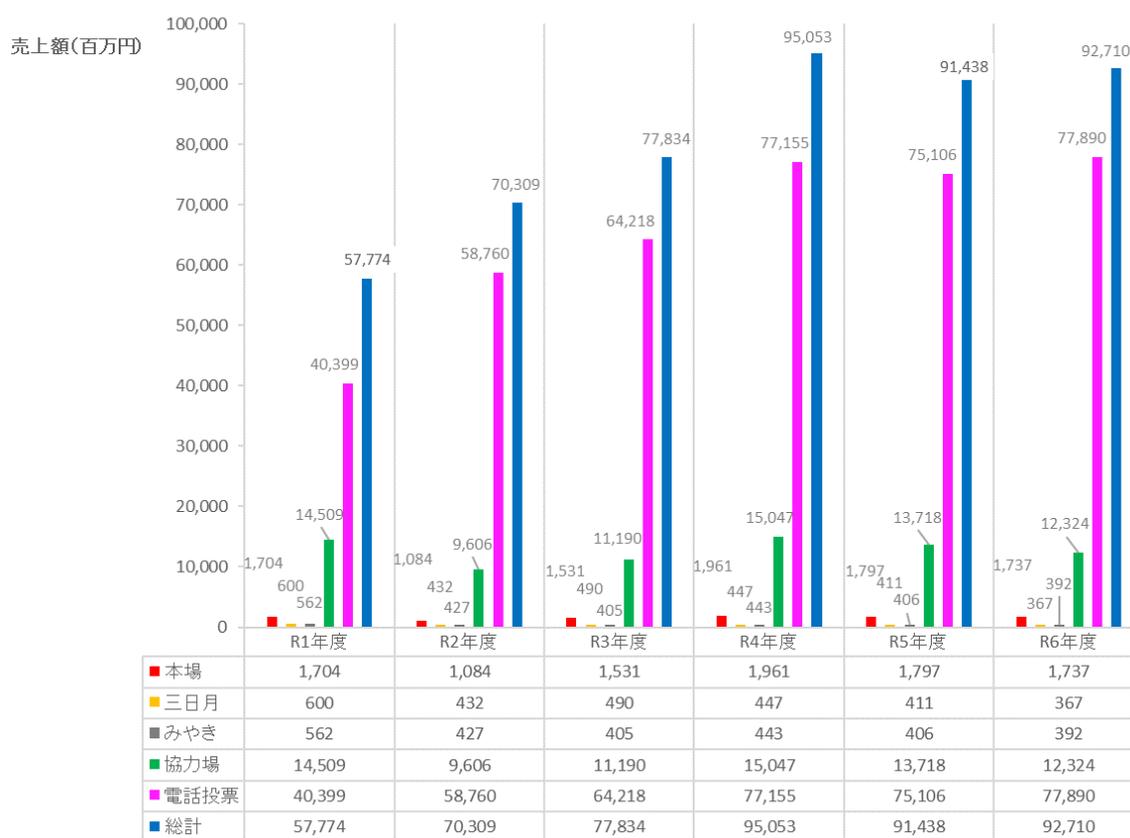
②唐津市営レースの売上状況

令和6年度の唐津市営レースについては、売上総額が927億995万2,200円となり、前年度と比較して、101.3%の売上でした。また、1日平均売上額は4億6,823万2,082円でした。

令和6年度の売上を発売形態別で見ると、電話投票売上が全体の84.0%を占めており、これは全国の電話投票売上占有率79.8%と比べても高く、電話投票の売上がポートレースからつの収益を大きく左右しています。

一方でスタート事故等による令和6年度の返還金額は14億146万2,900円で、返還率は全国平均を上回る1.47%(全国平均1.23%)となっており、事故を削減することが課題となっています。

唐津市営レース 発売形態別売上実績

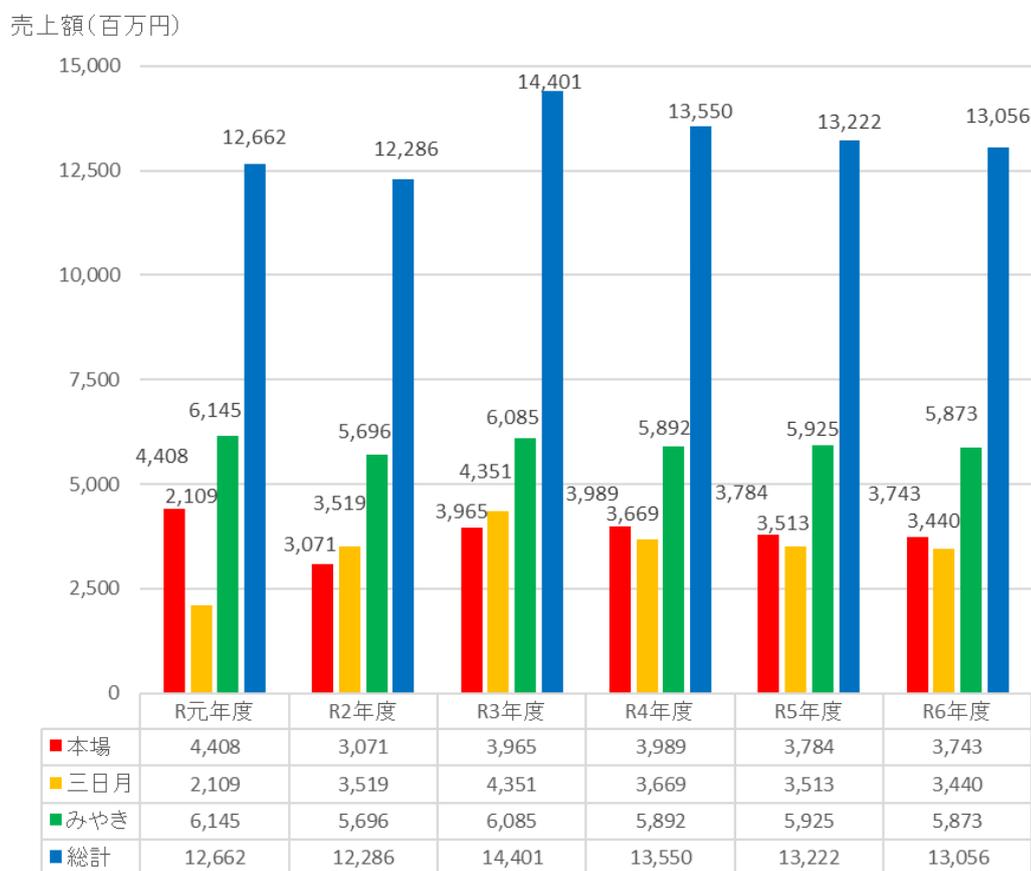


③他場レース発売の状況

令和6年度の他場レース発売の売上総額は130億5,482万1,500円（前年度比98.7%）でした。

減少の主な要因は、全国の電話投票占有率が令和6年度79.8%（前年度78.5%）と上昇したことで、発売場での購買者が減少し、他場レースの売上が低下したことが考えられます。

他場レース発売の売上実績



※表示桁数の調整、四捨五入の関係で合計がわずかに合わない場合がある。

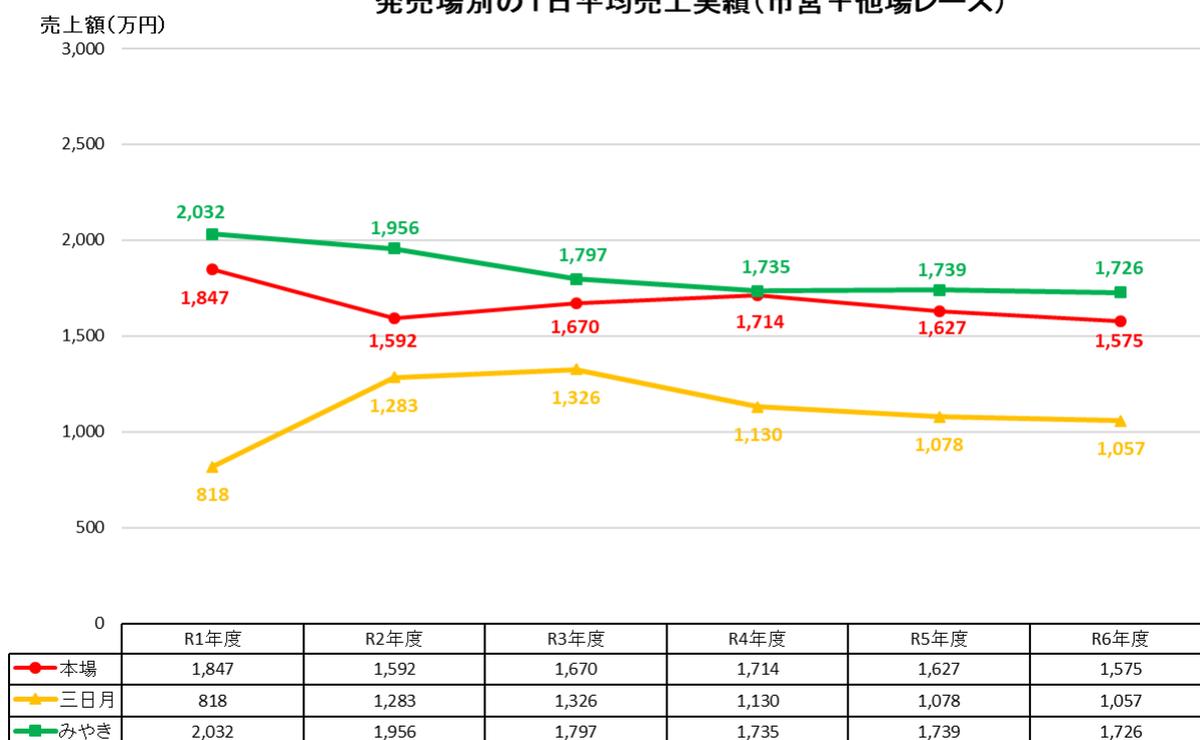
④ 発売場別の1日平均売上額

唐津市営レースと他場レース発売の売上金額を合計したそれぞれの発売場別の1日平均売上額の推移は次のとおりです。

唐津市営レースの開催日数は昨年同様であったものの、周年競走を除くGⅡ以上のレースの自場開催が無かったことから売上が減少しました。

また、電話投票の売上が増大していることも発売場の売上減少に影響を与えていると考えられ、業界全体での場間場外(他場レース)発売においても前年比97.7%と3年連続で減少しており、ボートレースからつでも同様の減少傾向が見られます。

発売場別の1日平均売上実績(市営+他場レース)

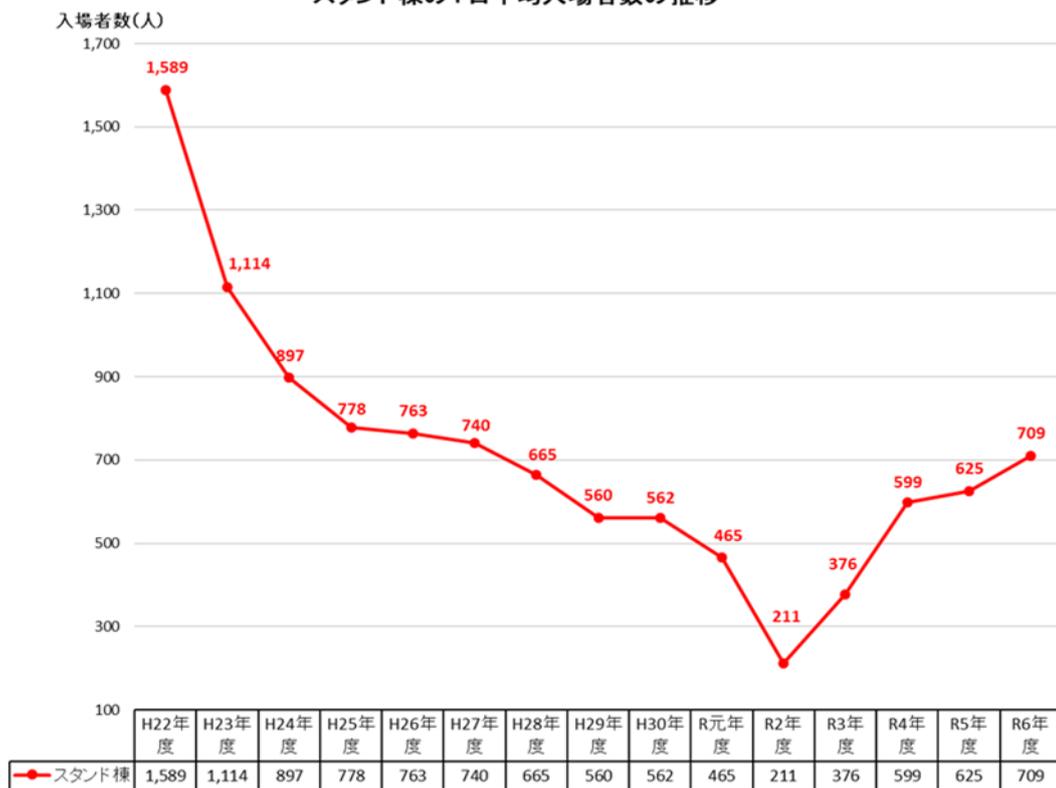


⑤ 1日平均入場者数

スタンド棟の入場者数については、令和3年度の改修時に設置したコミュニティエリアの利用者増加に伴い、徐々に増えつつあります。しかし、ボートレースファンの高齢化、電話投票の拡大などの影響により、以前ほどの来場者は見込めません。

現状を踏まえると、ボートレース観戦のみを目的とした入場者数の増加は難しい状況ですが、これまでボートレース場に足を運んだことのない方にもご来場いただくため、ステージイベント（お笑い、キャラクターショー等）やマルシェなどの施策を行い市民に開かれた施設としての認知度向上を図る必要があります。

スタンド棟の1日平均入場者数の推移



※令和元年9月から仮設スタンドで営業のため入場者数が減少。令和3年11月27日からスタンド棟リニューアルオープン。

⑥コミュニティエリア利用状況

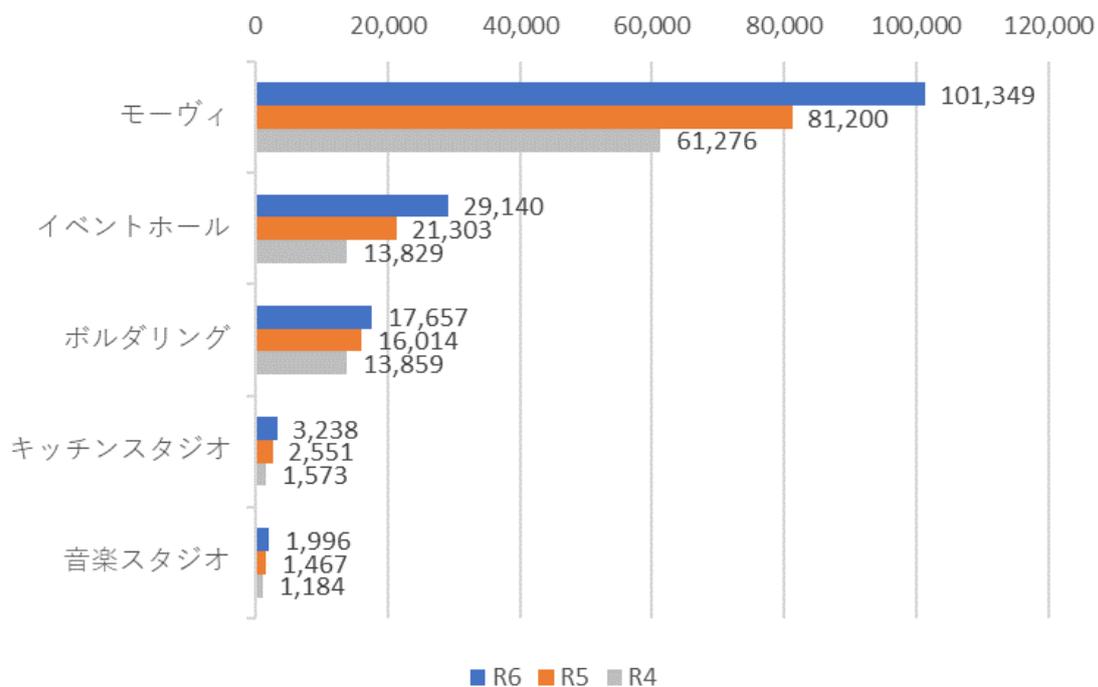
スタンド棟1階コミュニティエリア「からっふる♪」は、地域に開かれた施設として様々な用途で利用されており、レース観戦以外の目的でボートレースからっを訪れる人が年々増加しています。

令和6年度は、エントランス（共有スペース）において野菜即売会や仕事体験テーマパーク出張カンドゥーなどが開催されたほか、イベントホールでの各種催しや、ウォーターパークからっ（プールイベント）を実施し、年間で約18万人の利用がありました。特に親子の遊び場「モーヴィ」は年間延べ10万1千人以上の親子が利用しており、幅広い年齢層がレース場に足を運ぶきっかけとなっています。

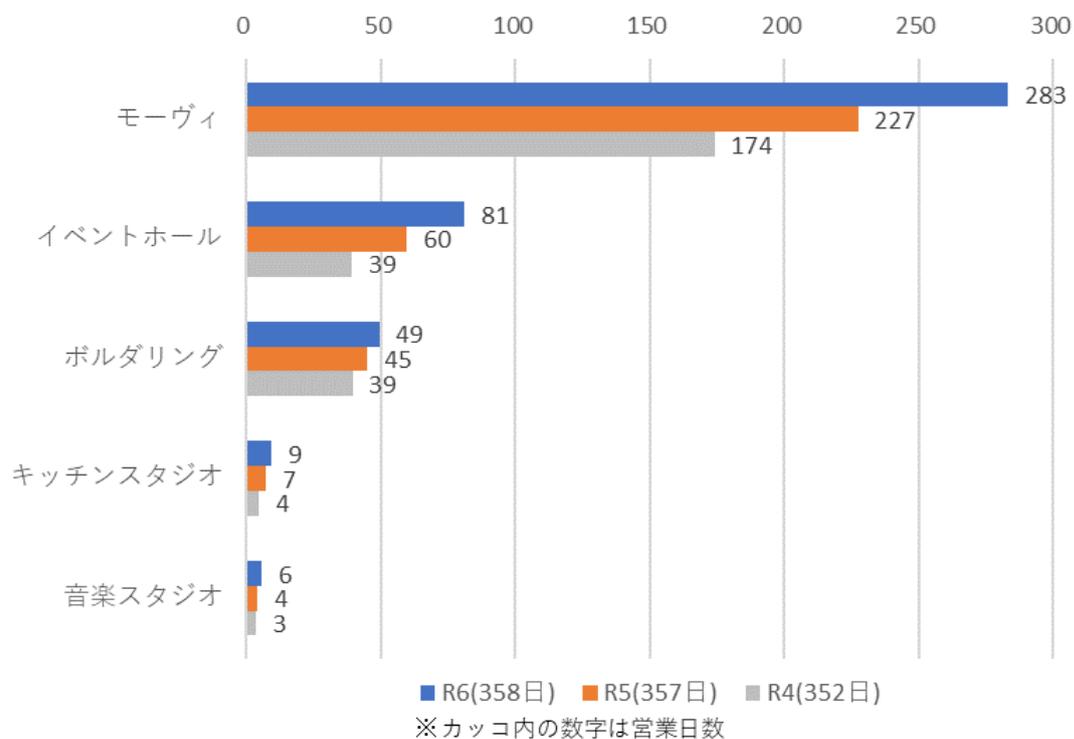


仕事体験テーマパーク カンドゥー
 (令和6年12月25日～令和7年1月13日開催)

コミュニティエリア利用者数推移



コミュニティエリア利用者数推移（1日平均）



2. 費用分析

電話投票の売上拡大は、昨年度に引き続き好調に推移しており、今後もこの傾向は続くことが見込まれる状況です。

しかし、今後の施設改修、設備投資や維持管理を考えた場合、より安定的な収益を確保する必要があるとあり、本場や場外発売場、協力発売場及び電話投票がそれぞれにおいて将来的にどれぐらいの売上があるのか、売上減少が見込まれればどの経費を見直す必要があるのかなど、各発売形態の費用を分析し、収益を把握することが今後の施策決定には不可欠です。

そこで、令和6年度決算をベースに発売場別に費用を振り分け、収支状況を次ページ以降にまとめました。

なお、費用分析にあたっては、地方公営企業法施行令第9条第3項に「地方公営企業は、資本取引と損益取引とを明確に区分しなければならない。」と規定されており、この資本取引に該当する収支については収益には直接反映されないため記載を省略し、損益取引の収支及び資本取引に伴う消費税額のみを記載することとします。



開設72周年記念 GI全日本王者決定戦
(令和7年6月5～10日開催)

第1章 現状と課題

【令和6年度収支決算（税込）】

収益的収支 (単位:千円)

項目	決算額	備考
ボートレース事業収益 (A)	96,572,580	
営業収益	96,508,287	
舟券発売金	94,111,415	唐津市営レース発売金
他場レース発売収入	2,289,871	他場からの発売受託収入
その他営業収益	107,002	入場料、時効金等収入
営業外収益	64,292	使用料、受取利息、受贈財産等
特別利益	0	

収益的支出

項目	決算額	備考
ボートレース事業費用 (B)	89,093,334	
営業費用	88,970,639	
開催費	86,186,960	唐津市営レース開催に伴う経費
他場レース発売経費	1,523,259	他場レース発売に伴う経費
管理費(総係費)	553,790	人件費、光熱水費等
減価償却費	699,918	土地以外の資産の減価償却費用
資産減耗費	6,712	固定資産の除却に伴う費用
特別競走開催費	0	周年以外の特別競走開催に伴う経費
営業外費用	3,173	支払利息等
特別損失	0	スタンド棟改修に伴う固定資産除却費
資本的支出(4条)の消費税	119,523	

純利益

(単位:千円)

項目	決算額	備考
純利益 (C) = (A) - (B)	7,479,245	前年度比:106.4%
純利益 + 減価償却費	8,179,163	

※表示桁数の調整、四捨五入の関係で合計がわずかに合わない場合がある。

【令和6年度開催状況】

開催状況		前年度比
開催日数	198日	100.0%
唐津市営レース売上額	92,709,952,200円	101.4%
1日平均売上額	468,232,082円	101.4%
他場レース売上額	13,054,821,500円	98.7%
特別競走	開催無し	

第1章 現状と課題

令和6年度収支決算（発売場別の内訳）

(単位:千円)

予算科目名称	スタンド+ 電話投票	ドリームピット	ミニット	オラレ	三日月	みやき	協力場	合計
競艇事業収益 (A)	80,249,088	951,139	242,790	104,512	976,674	1,429,219	12,619,157	96,572,580
営業収益	80,192,433	946,200	242,466	102,139	976,674	1,429,219	12,619,157	96,508,287
開催収益	80,072,520	459,594	134,816	88,081	372,018	397,854	12,586,534	94,111,415
他場レース発売事務受託収益	59,487	475,876	107,296	13,827	603,309	1,030,076	0	2,289,871
その他営業収益	60,426	10,730	354	231	1,348	1,289	32,624	107,002
営業外収益	56,655	4,939	324	2,374	0	0	0	64,292
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0

予算科目名称	スタンド+ 電話投票	ドリームピット	ミニット	オラレ	三日月	みやき	協力場	合計
競艇事業費用 (B)	73,952,690	618,840	174,794	98,985	864,911	1,263,570	12,119,545	89,093,334
営業費用	73,830,030	618,828	174,791	98,982	864,902	1,263,560	12,119,545	88,970,639
開催費	72,628,534	479,342	153,407	92,926	342,938	370,268	12,119,545	86,186,960
払戻金(返還金)	60,289,484	341,418	101,934	65,389	276,942	298,057	9,323,781	70,697,005
法第25条交付金	2,546,865	14,590	4,281	2,801	11,828	12,632	397,538	2,990,534
法第30条交付金	981,666	5,624	1,650	1,079	4,559	4,869	153,227	1,152,675
地方公共団体金融機構納付金	595,728	3,413	1,001	655	2,767	2,955	92,987	699,506
会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
販売促進費	918,582	2,284	670	438	0	0	0	921,975
リース料	5,479	39	24	24	0	0	0	5,565
舟艇費	170,775	0	0	0	0	0	0	170,775
施設費	360,525	4,870	28	166	0	0	0	365,589
選手費	1,326,020	0	0	0	0	0	0	1,326,020
開催事務委託費	0	0	0	0	43,176	47,839	0	91,014
場間場外委託費	0	0	0	0	0	0	2,152,012	2,152,012
電話投票委託費	2,356,178	0	0	0	0	0	0	2,356,178
中央情報処理センター利用料	2,184,820	0	0	0	0	0	0	2,184,820
その他業務委託費	513,141	99,863	37,484	21,886	0	0	0	672,374
総務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
施設維持委託費	69,631	29,558	0	527	0	0	0	99,716
施設運営委託費	336,070	41,394	26,101	12,476	0	0	0	416,041
発売運営委託費	107,440	28,911	11,384	8,883	0	0	0	156,617
分担金	359,937	0	5,589	0	3,667	3,916	0	373,109
雑費	19,334	7,241	746	488	0	0	0	27,809
他場レース発売経費	54,188	65,801	16,274	2,816	506,510	877,670	0	1,523,259
従事員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
販売促進費	0	0	0	198	0	0	0	198
リース料	432	2	1	0	0	0	0	436
開催事務委託費	0	0	0	0	471,254	817,474	0	1,288,727
その他委託費	53,671	65,120	16,120	2,598	0	0	0	137,508
総務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
施設維持委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
施設運営委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
発売運営委託費	53,671	65,120	16,120	2,598	0	0	0	137,508
分担金	85	679	153	20	35,257	60,196	0	96,390
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費(総係費)	466,043	54,571	1,325	775	15,454	15,622	0	553,790
会計年度任用職員人件費	84,172	0	0	0	15,454	15,622	0	115,249
職員人件費	203,807	0	0	0	0	0	0	203,807
退職給付費	7,616	0	0	0	0	0	0	7,616
需用費	93,883	38,299	1,325	775	0	0	0	134,281
その他管理費(総係費)	58,163	16,273	0	0	0	0	0	74,436
賞与引当金繰入額	15,255	0	0	0	0	0	0	15,255
法定福利費引当金繰入額	3,146	0	0	0	0	0	0	3,146
災害補償費	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	674,554	19,113	3,785	2,465	0	0	0	699,918
資産減耗費	6,712	0	0	0	0	0	0	6,712
特別競走開催費	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用	3,137	11	3	2	9	10	0	3,173
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出(4条)の消費税	119,523	0	0	0	0	0	0	119,523

第1章 現状と課題

純利益

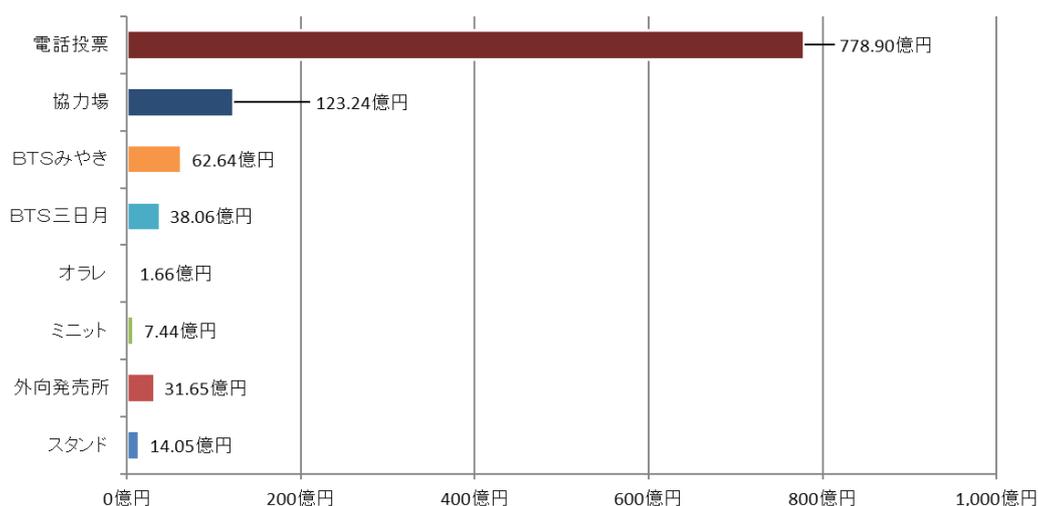
条件：舟艇費、選手費、職員人件費、特別損失等・・・スタンド+電話投票に係る経費として算定。

(単位：千円)

項目	スタンド+電話投票	ドリームピット	ミニット	オラレ呼子	BTS三日月	BTSみやき	協力場	合計
純利益 (C) = (A) - (B)	6,296,398	332,299	67,996	5,528	111,763	165,649	499,612	7,479,245

営業日数 (D)	215日	320日	343日	231日	360日	363日	198日	365日
1日あたり収入 (A)/(D)	373,252	2,972	708	452	2,713	3,937	63,733	264,582
1日あたり支出 (B)/(D)	343,966	1,934	510	429	2,403	3,481	61,210	244,091
1日あたり純利益 (C)/(D)	29,286	1,038	198	24	310	456	2,523	20,491

【令和6年度発売場別売上（唐津市営レース+他場レース）】



3. 課題

今後、重点的に取り組むべき課題は次のとおりです

- (1) 収益の8割以上を占める電話投票売上の拡大とファンサービスのあり方
- (2) 来場促進による本場活性化
- (3) 計画的な設備投資と資金計画

1. 基本方針

経営理念

地域に貢献するボートレースからつ

経営方針

1 安定的な収益の確保

現在、ボートレースからつの売上の8割以上を電話投票が占めており、全国的にも売上形態別において、電話投票売上の占める割合は増加傾向にあります。全国をターゲットにできる電話投票売上の拡大をボートレースからつでは最重要課題と位置付け、今後も電話投票の売上拡大に重点を置いた施策を展開します。

また、全国のボートレースチケットショップ(場外発売場)においてボートレースからつのレース発売の拡大に向けて様々な施策を展開します。

他場レースの発売については、効率的な発売を実施することにより収益向上に努めます。

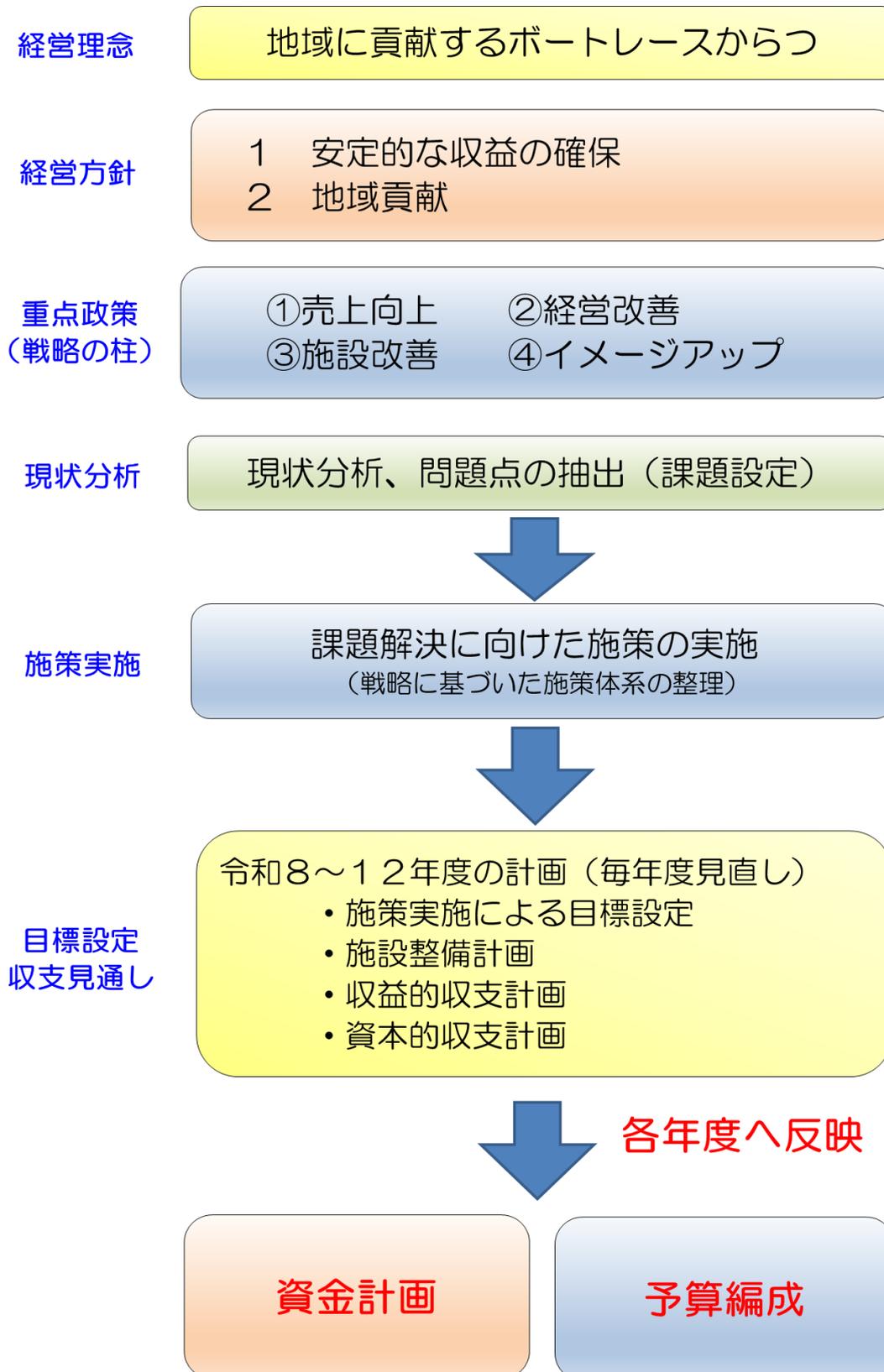
また、収益確保に最適な運営体制を構築するため、設備投資を行っていきます。

2 地域貢献

モーターボート競走事業の主たる目的である「地方財政への貢献」については、その原資となる収益を安定的かつ持続的に今後も確保していくため、ボートレース場への設備投資を最優先とし、事業自体の存続に多大な影響を与えない範囲で市への繰り出しを行っていきます。

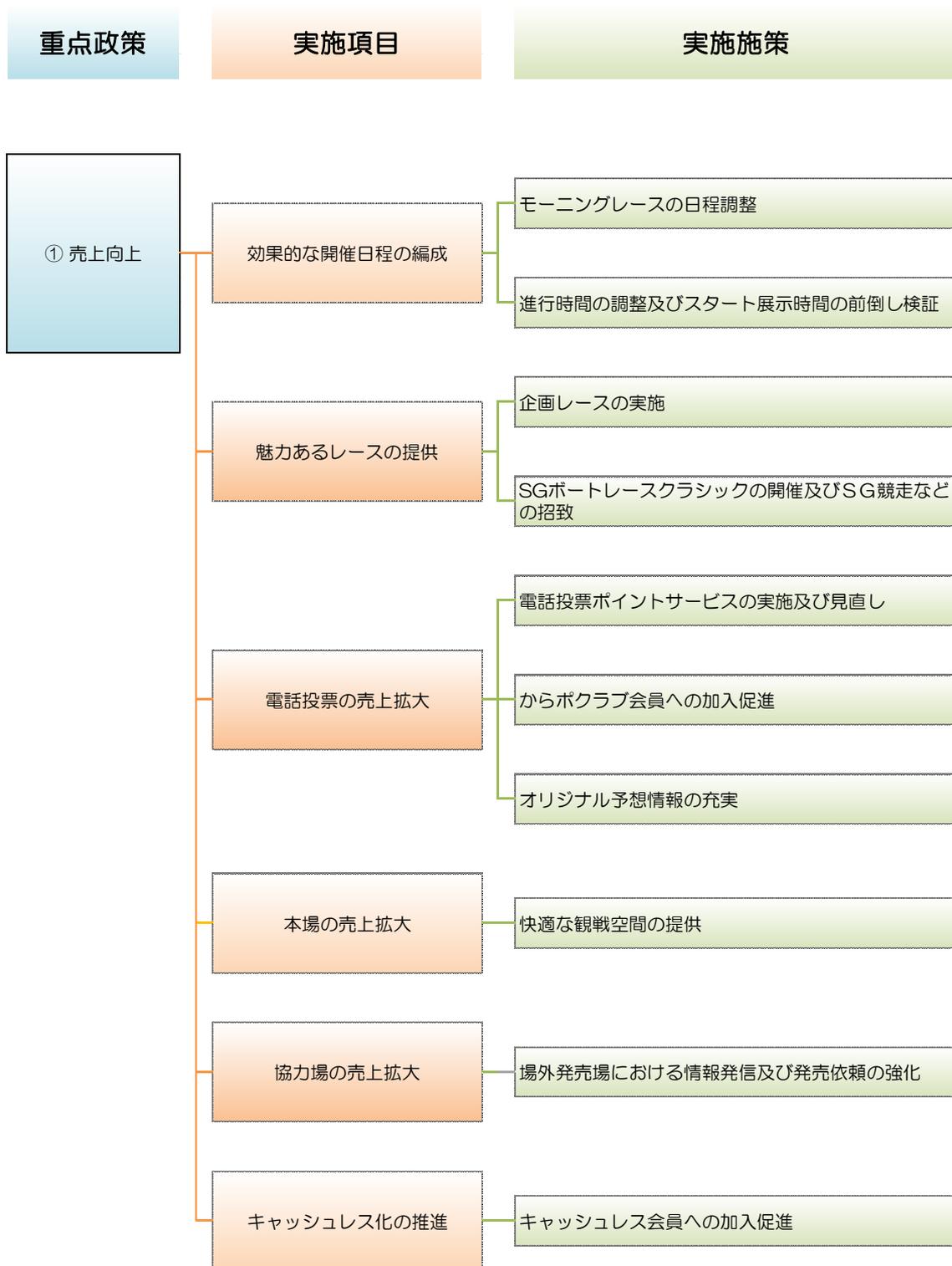
令和3年度からはスタンド棟1階に親子の遊び場「モーヴィ」やイベントホールを備えたコミュニティエリアを設置し、地域に開かれた施設として運営しています。今後は松浦河畔公園の整備と連携をとりながら、地域の皆様により親しみをもってご利用いただける環境づくりを目指します。

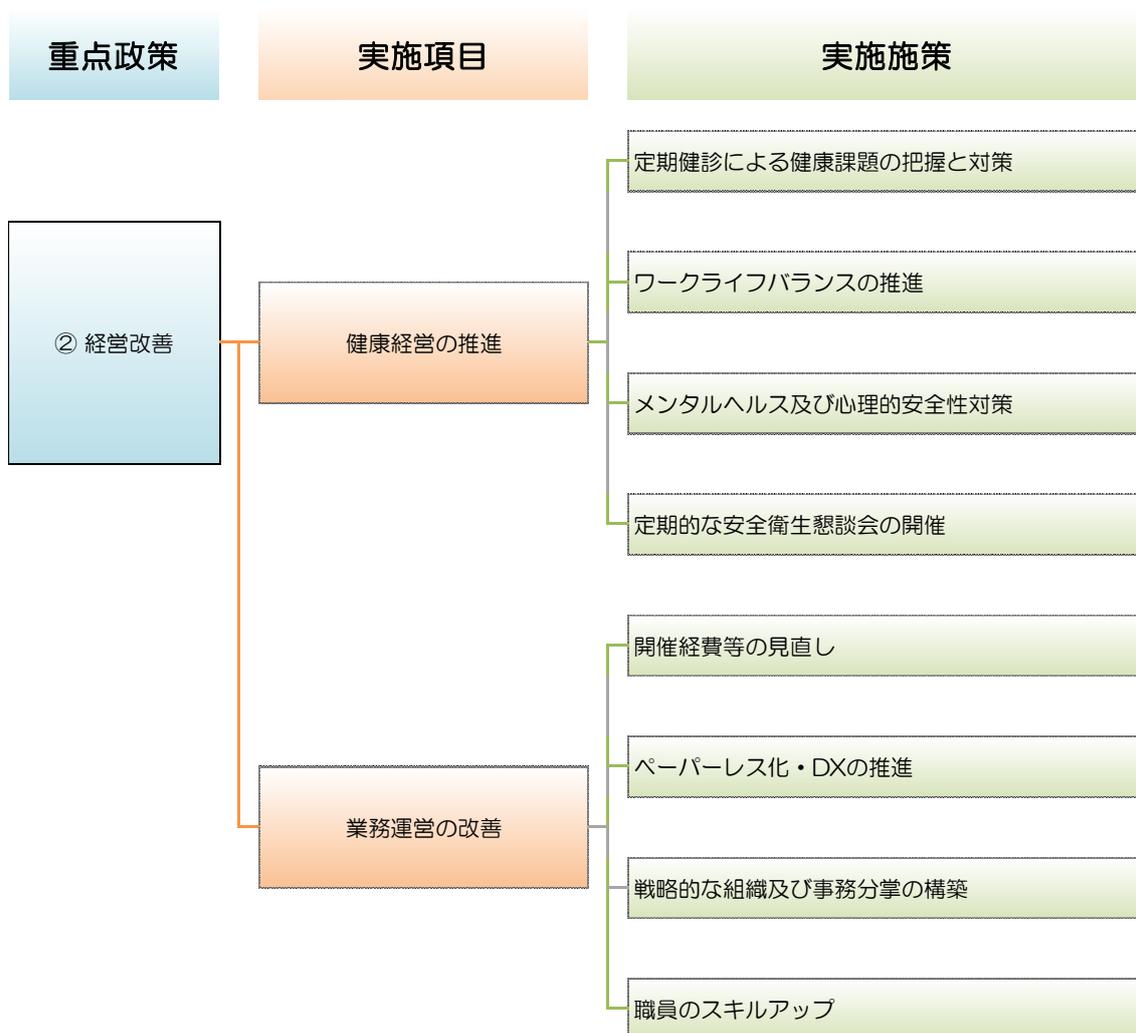
2. 計画のイメージ

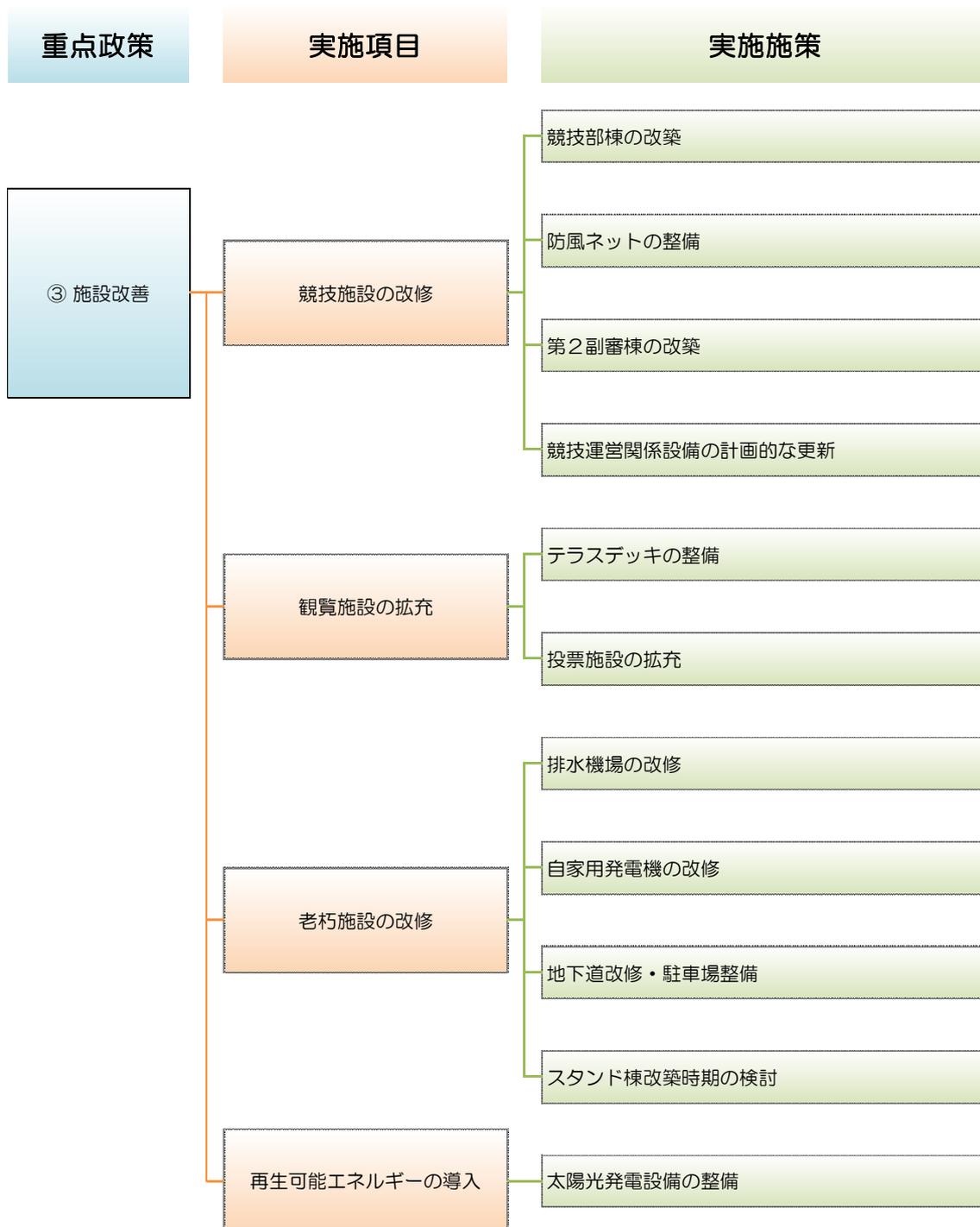


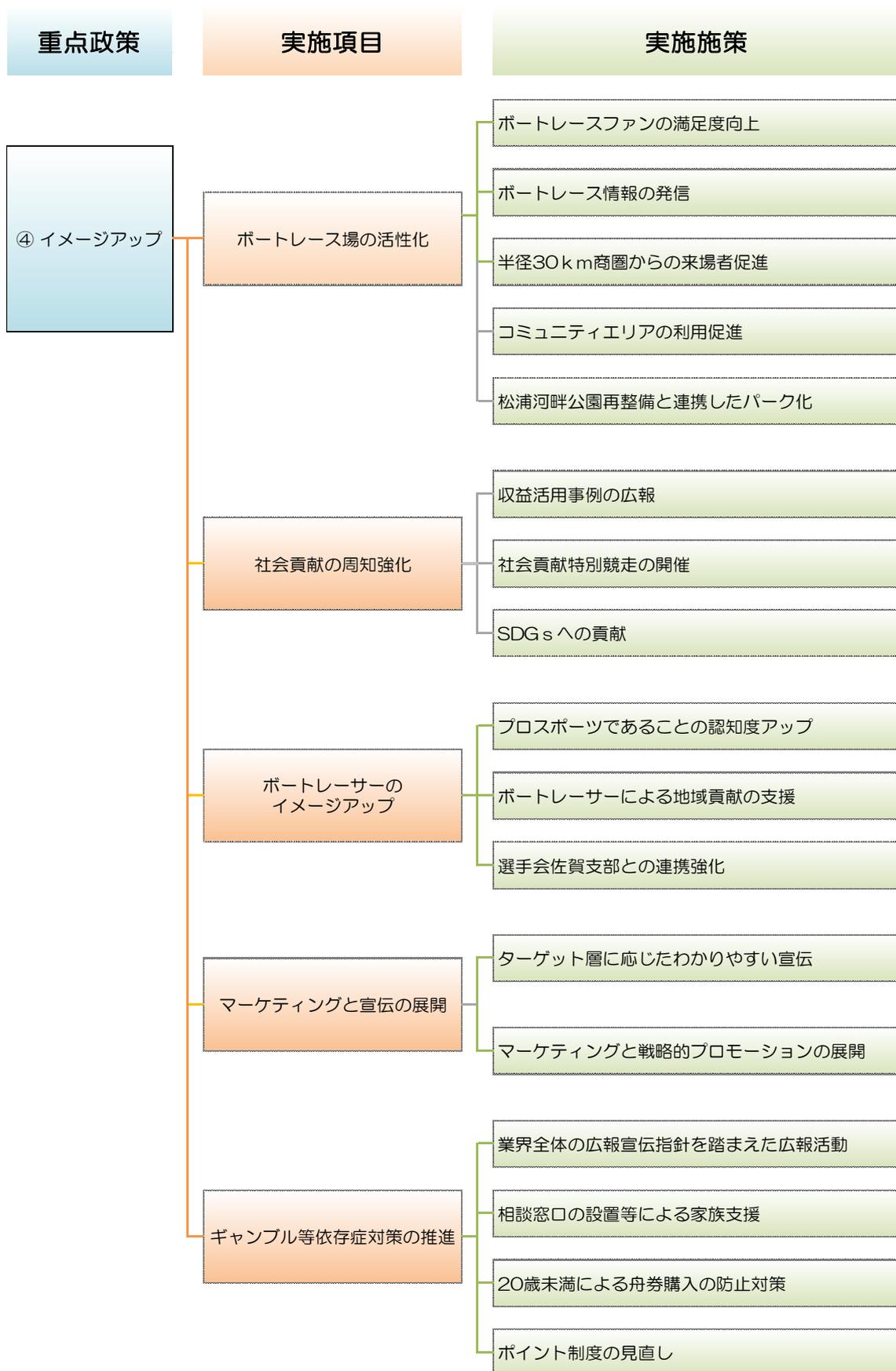
1. 施策体系図

重点政策ごとに課題を整理し、次のとおり各種施策を実施します。









2. 重点政策への取り組み

①売上向上

実施項目1 効果的な開催日程の編成

- (1) モーニングレースの日程調整
- (2) 進行時間の調整及びスタート展示時間の前倒し検証

【売上数値目標→P25】

売上の8割以上を占めている電話投票売上の更なる向上のため、モーニングレースにおける効果的な開催日程の編成、進行時間の調整などについて、モーニングレース開催施行者5場間での連携強化を図ります。

実施項目2 魅力あるレースの提供

- (1) 企画レースの実施
- (2) S Gボートレースクラシックの開催及びS G競走などの招致

令和8年度は、S Gボートレースクラシックの開催が決定したため、G I開設73周年記念とあわせて、全国のファンに唐津をPRすることで売上向上を図ります。

また、令和9年度以降もS G・P G I競走の誘致を目指します。

実施項目3 電話投票の売上拡大

- (1) 電話投票ポイントサービスの実施及び見直し
- (2) からポクラブ会員への加入促進
- (3) オリジナル予想情報の充実

【からポクラブ数値目標→P29】

平成27年度に導入したポイントクラブ「からポ」での顧客管理を継続し、お客様からの要望が多い選手グッズが当たる電投キャンペーンなどを実施します。

電話投票会員向けのレース情報発信としてYouTube等による直前予想・裏実況放送の配信の強化、ファンミーティング等の独自イベントの企画により、他のモーニングレース開催場と差別化を図り、売上向上に努めます。

実施項目4 本場の売上拡大

快適な観戦空間の提供

ホスピタリティの向上、有料席での利用者サービス等により、観戦エリアのサービスの質の強化を図り、売上向上につなげます。

実施項目5 協力場の売上拡大

場外発売場における情報発信及び発売依頼の強化

場外発売場において攻略ブックの配布（傾向と対策）、予想会、抽選会、ファンミーティングなどを実施して売上の拡大を図ります。

実施項目6 キャッシュレス化の推進

キャッシュレス会員への加入促進

キャッシュレス化推進のために、加入キャンペーンや会員限定の抽選会などを実施します。また、キャッシュレスに対応した端末については、実際の利用状況を考慮して適正台数を設置していきます。

②経営改善

実施項目1 健康経営の推進

- (1) 定期健診による健康課題の把握と対策
- (2) ワークライフバランスの推進
- (3) メンタルヘルス及び心理的安全性対策
- (4) 定期的な安全衛生懇談会の開催

職員が心理的にも安心して働ける職場環境づくり並びに連続休暇や介護、育児休暇の取得促進など、職員のワークライフバランスの充実を図ります。

実施項目2 業務運営の改善

- (1) 開催経費等の見直し
- (2) ペーパーレス化・DXの推進
- (3) 戦略的な組織及び事務分掌の構築
- (4) 職員のスキルアップ

【人員配置数値目標→P31】

人件費・物価高騰に伴う開催経費等の増加に対応するため、契約内容や方法の見直し、適正な事務分掌の構築・人員配置により経費削減に努めます。

また、経営方針の明確化や職員からの提案を引き出すため、情報共有ツールを用いて局内のコミュニケーションの活性化を図り、経営に対する意識を高めていきます。

③施設改善

実施項目1 競技施設の改修

- (1) 競技部棟の改築
- (2) 防風ネットの整備
- (3) 第2副審棟の改築
- (4) 競技運営関係設備の計画的な更新

競技部棟については、将来にわたって公正・安全に競技を行え、選手がより快適に安心して使用できる施設づくりを目指し、令和5年度から9年度までの5箇年計画で競技部棟の建て替えを行うとともに、発着ピット、第2副審棟、スタート事故防止用の防風ネット、水上標識等、競技運営上重要な設備の更新を計画的に行っていきます。

実施項目2 観覧施設の拡充

- (1) テラスデッキの整備
- (2) 投票施設の拡充

レース観戦施設の拡充を図るため、第1ターンマークでの迫力ある旋回シーンを間近に感じながら観戦する観覧施設の整備に取り組みます。観覧施設は水面際の立見席とテーブル席を備えたテラスデッキの整備拡充を行うとともに屋外投票所を新たに構築し、サービスの更なる向上を図ります。

実施項目3 老朽施設の改修

- (1) 排水機場の改修
- (2) 自家用発電機の改修
- (3) 地下道改修・駐車場整備
- (4) スタンド棟改築時期の検討

【施設整備計画→P35】

老朽施設の改修については、排水機場及び自家用発電機の改修が急務となっており、今後優先的に行っていきます。排水機場は、ボートレース場競走水面の水入れ替えを行う際の施設で、豪雨時の雨水排水

機能も有しており、周辺地区の浸水防止の役割も担っています。自家用発電機は、停電時においても、レース運営に支障を生じないように、予防保全の観点から施設を移転し全面的に改修します。

また、地下道の改修や駐車場の整備を行い、来場されたお客様が利用しやすいユニバーサルデザイン化した施設整備にも取り組みます。

令和3年度に大規模改修を行ったスタンド棟についても、建築から50年経過することから、建て替え時期を検討します。

実施項目4 再生可能エネルギーの導入

太陽光発電設備の整備

脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギー（太陽光発電）を導入した結果を踏まえ、増設の検討を行います。

その他の施設整備については、各発売場における売上と利用者の動向を見ながら施設整備を進めていきます。

④イメージアップ

実施項目1 ボートレース場の活性化

- (1) ボートレースファンの満足度向上
- (2) ボートレース情報の発信
- (3) 半径30km圏からの来場者促進
- (4) コミュニティエリアの利用促進
- (5) 松浦河畔公園再整備と連携したパーク化

ボートレースファンのニーズを把握し、満足度を高める取組みを図るとともに、メディアを利用したボートレース情報の発信など、半径30km以内の圏からの来場促進を図り、新規のファンづくりに取り組んでいきます。

また、コミュニティエリア（からっふる♪）では、市民をメインに全世代の多様なライフワークを捉えて、リピート率、滞在時間の拡大に繋がる取組みを展開します。

さらに、松浦河畔公園再整備と連携し、ボートレースのパーク化を進めていきます。

実施項目2 社会貢献の周知強化

- (1) 収益活用事例の広報
- (2) 社会貢献特別競走（にっぽん未来プロジェクト競走）の開催
- (3) SDGsへの貢献

【繰出金数値目標→34】

収益金から繰り出した財政支援は、活用事例の広報を強化し、ポートレース事業による地域貢献への取り組みの認知度を高めていきます。（収益金活用の詳細は別冊活用事業資料参照）

また、新興感染症対策への取り組み、パラスポーツパークの設置運営、将来を担う若手人材育成、2027国際園芸博覧会への抛出を目的とした社会貢献特別競走を開催し、より一層の社会貢献を図ります。

SDGsへの貢献については、環境改善や社会的課題の解決に取り組む企業や団体が発行する債券を購入しています。そのほか、場内照明のLEDへの更新やエタノールを30%混合したE30燃料の導入、非化石燃料の電力を提供する事業者との契約により環境負荷の低減を進めており、今後もSDGsの観点から踏まえた選択をしていきます。

健康福祉の増進
4事業 充当額 4億6千万円

子育て環境の充実
16事業 充当額 9億6千万円

市内情報化基盤の向上
3事業 充当額 2億1千万円

観光・スポーツ施設の整備
7事業 充当額 2億3千万円

公共交通の維持確保
2事業 充当額 2億9千万円

教育環境の整備
12事業 充当額 3億5千万円

その他の取り組み
55事業 充当額 10億7千万円

ポートレースからつた収益金活用
総額 55億円 99事業に活かされています。

お役に立てる公営です

～令和6年度版～

実施項目3 ボートレーサーのイメージアップ

- (1) プロスポーツであることの認知度アップ
- (2) ボートレーサーによる地域貢献の支援
- (3) 選手会佐賀支部との連携強化

ボートレースがプロスポーツであることの認知度を高め、ライトファンづくりを行うとともに、職業としてのボートレーサーの魅力発信を図っていきます。

また、PR活動やレーサーの地域貢献活動を支援するとともに、競走会や選手会と連携してレース場を訓練の場として開放するなどレース環境面をサポートし、スター選手の育成に取り組みます。

実施項目4 マーケティングと宣伝の展開

- (1) ターゲット層に応じたわかりやすい宣伝
- (2) マーケティングと戦略的プロモーション展開

来場者やインターネット利用者の嗜好把握とトレンド解析等により、優先すべきニーズを絞込み、既存ファンの満足度向上と新規ファン獲得のためのキャンペーンやイベントを企画し、ターゲットに合わせた効果的な媒体を利用した宣伝を図っていきます。

また、新しいファン獲得に向け、売上効果としての期待値が高いターゲット層やエリアへのマーケティングを行い、電話投票や来場促進のキャンペーンを展開していきます。

実施項目5 ギャンブル等依存症対策の推進

- (1) 業界全体の広報宣伝指針を踏まえた広報活動
- (2) 相談窓口の設置等による家族支援
- (3) 20歳未満による舟券購入の防止対策
- (4) ポイント制度の見直し

ギャンブル等依存症対策基本法及びギャンブル等依存症対策推進基本計画に基づき、啓発ポスター等の広告媒体の掲出や普及活動を行います。

また、キャッシュバックキャンペーンやポイント制度の見直しを行い、業界及び関係団体と連携したギャンブル等依存症への予防対策を図っていきます。

3. 施策実施による目標設定

① 売上

ア 試算条件

計画期間である令和8年度から令和12年度までの売上については、次の条件により試算しました。

年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
項目	市営レース開催日数()内はモーニング	198日 (189日)	180日 (162日)	198日 (186日)	180日 (168日)	198日 (186日)	198日 (180日)	198日 (186日)	
	GⅡ以上と女子戦の開催予定	周年 ウェスタンヤング 3Days 女子戦 2節	周年 九州地区選 MB大賞 女子戦 2節	周年 SGクラシック 女子戦 2節	周年 MB大賞 女子戦 2節	周年 SG競走 女子戦 2節	周年 ダイヤモンドカップ 九州地区選 女子戦 2節	周年 PGⅠ競走 女子戦 2節	
唐津市営レース	<p>・令和7年度は、4月から令和8年1月までの全国の電話投票売上が107.5%と好調を維持している。2～3月においても堅調に推移すると想定し、モーニングレース全体の一日平均売上を前年比105%と見込み、GⅠ周年競走、GⅠ九州地区選手権、GⅡモーターボート大賞を含む全体の一日平均売上として前年比109.8%を見込むが、総売上は開催日数の減少により△0.2%</p> <p>・令和8年度以降は、発売形態別に以下の条件にて算定した。</p> <p>【本場】</p> <p>・令和8年度以降はグレードレースの規模によって売上は増減するが、モーニングレースについては、前年度と同額程度で算定した。</p> <p>【三日月】</p> <p>・令和8年度以降については、日数等の増減はあるが前年度と同額程度で推移すると見込み算定した。</p> <p>【みやき】</p> <p>・令和8年度以降については、日数等の増減はあるが前年度と同額程度で推移すると見込み算定した。</p> <p>【協力場】</p> <p>・令和8年度以降については、日数等の増減はあるが前年度と同額程度で推移すると見込み算定した。</p> <p>【電話投票】</p> <p>・令和8年度以降については、日数等の増減はあるが前年度と同額程度で推移すると見込み算定した。</p> <p>【特別競走】</p> <p>R7 GⅠ地区選競走、GⅡモーターボート大賞・・・GⅠは実績、GⅡは直近売上を参考とした見込み</p> <p>R8 SGクラシック・・・直近の売上を参考とした見込み</p> <p>R9 MB大賞・・・直近の売上を参考とした見込み</p> <p>R10 SG・・・直近SG競走売上を参考とした見込み</p> <p>R11 ダイヤモンドカップ、九州地区選・・・直近の売上を参考とした見込み</p> <p>R12 PGⅠ・・・直近の売上を参考とした見込み</p> <p>※令和7年度、令和9年度の市営レース開催日数が減少している理由は、競技部棟改修に伴う機能移設期間として各2か月を予定しているため。</p>								
	各発売場の営業日数	スタンド	215日	180日	198日	180日	198日	198日	198日
		外向発売所	320日	345日	353日	353日	353日	353日	353日
		ミニット	343日	341日	353日	353日	353日	353日	353日
		オラレ呼子	231日	220日	240日	240日	240日	240日	240日
		BTS三日月	360日	365日	365日	366日	365日	365日	365日
		BTSみやき	363日	362日	365日	366日	365日	365日	365日
	(備考)								

第3章 課題解決に向けた取り組み

イ 唐津市営レースの売上

(単位:百万円)

区分	R6実績		R7決算見込		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		
	日数	売上総額	日数	売上総額	日数	売上総額	日数	売上総額	日数	売上総額	日数	売上総額	日数	売上総額	
一般 (GⅢ、 女子 戦含) 計	本場	189	1,507	162	1,320	186	1,433	168	1,360	186	1,471	180	1,430	186	1,480
	三日月	186	338	162	266	186	305	168	292	186	315	180	306	186	319
	みやき	187	351	161	296	186	319	168	305	186	330	180	320	186	334
	協力場	189	10,012	162	8,537	186	9,915	168	8,668	186	9,243	180	9,002	186	9,392
	電話	189	69,903	162	63,490	186	72,030	168	62,336	186	68,413	180	66,335	186	68,567
	計	189	82,113	162	73,909	186	84,003	168	72,961	186	79,771	180	77,394	186	80,093

周 年 競 走	本場	6	161	6	145	6	144	6	145	6	145	6	145	6	145
	三日月	6	21	6	15	6	18	6	18	6	18	6	18	6	18
	みやき	6	29	6	22	6	21	6	21	6	21	6	21	6	21
	協力場	6	1,675	6	1,370	6	1,380	6	1,500	6	1,370	6	1,440	6	1,370
	電話	6	6,283	6	5,379	6	5,340	6	5,820	6	5,379	6	5,580	6	5,379
	計	6	8,169	6	6,931	6	6,903	6	7,504	6	6,932	6	7,204	6	6,932

S G / 地 区 選 等	本場	3	69	12	278	6	480	6	120	6	240	12	240	6	240
	三日月	3	7	12	40	6	48	6	18	6	48	12	36	6	48
	みやき	3	12	12	47	6	48	6	20	6	48	12	42	6	48
	協力場	3	636	12	2,225	6	2,760	6	842	6	3,000	12	2,400	6	2,200
	電話	3	1,704	12	9,104	6	11,164	6	3,500	6	10,664	12	9,300	6	7,464
	計	3	2,428	12	11,694	6	14,500	6	4,500	6	14,000	12	12,018	6	10,000

77%感謝3Days G I九州地区選
G I I M B 大賞 S G クラシック G I I M B 大賞 S G G I九州地区選
G I ｸﾞｲﾝﾄﾞｶｯﾌﾟ P G I

合 計	本場	198	1,737	180	1,742	198	2,057	180	1,624	198	1,855	198	1,815	198	1,865
	三日月	195	367	180	322	198	371	180	328	198	381	198	360	198	385
	みやき	196	392	179	365	198	388	180	346	198	399	198	383	198	403
	協力場	198	12,324	180	12,132	198	14,055	180	11,010	198	13,613	198	12,842	198	12,962
	電話	198	77,890	180	77,973	198	88,534	180	71,656	198	84,456	198	81,215	198	81,410
	計	198	92,710	180	92,534	198	105,406	180	84,965	198	100,704	198	96,616	198	97,025

※備考

- ・R6 外向発売所1か月閉鎖、スタンド棟で場外発売
- ・R7 競技棟移設工事のため、2か月休場
- ・R9 競技棟移設工事のため、2か月休場

ウ 各発売場の損益分岐点

各発売場の損益分岐点について（一社）全国モーターボート競走施行者協議会が採用している計算方法を基に算定すると次のとおりです。

（単位：千円）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
発売場	営業収益	固定費	変動費	限界利益 (①-③)	限界利益率 (④/①)	損益分岐点 (②/⑤)	開催日数	損益分岐点となる 1日平均売上 (⑥/⑦)
スタンド棟+ 電話投票	80,192,433	4,514,170	68,189,962	12,002,470	14.97%	30,160,647	198日	152,326
ドリームピット	946,200	248,914	318,760	627,440	66.31%	375,370	320日	1,173
ミニット	242,466	65,897	106,781	135,685	55.96%	117,757	343日	343
オラレ呼子	102,139	28,892	68,834	33,305	32.61%	88,605	231日	384

【用語の説明】

- ・固定費 → 売上高に関係なく発生する費用のことです。
例)人件費、舟艇費、修繕費、減価償却費など
- ・変動費 → 売上高に比例して増減する費用のことです。
例)払戻金・返還金、モーターボート競走法によって定められた各交付金、地方公共団体金融機構納付金など
- ・限界利益 → 「商品やサービスを販売した際に連動して得られる利益」のことで、ここでは「各発売場がモーターボート競走事業（舟券の発売等）を行うことで得られる利益」を表します。
- ・限界利益率 → 売上高に占める限界利益の割合のことです。
限界利益率が高いほど、収益性が高い商品・サービスであると判断出来ます。
- ・損益分岐点 → 利益が0円になる売上高のことです。
損益分岐点を上回る売上があれば利益が出て黒字となります。

現在、ボートレースからつが所有、直営している場外発売場は、ミニット、オラレ呼子の2カ所があります。

コロナ禍（令和2～4年度）を除いた平成29～令和6年度におけるミニット、オラレ呼子の売上状況は、共に緩やかな減少傾向が続いており、今後の売上状況によっては閉鎖や包括委託を検討する必要があります。

しかしながら、これらの発売場には集会施設的なコミュニティの場としての役割もあるため、まずは施設存続のために損益分岐点を上回る売上を確保できるよう努めていきます。

第3章 課題解決に向けた取り組み

エ 唐津市営レースの粗収益の目安

売上金からモーターボート競走法など法律で定められている経費や全国的な取り決めで定められている経費を除いた粗収益の発売形態別の目安については、次のとおりです。

	0	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100%
本場 (外向、ミニット、オラレ含む)	払戻 75%	法定交納付金	約5.618%						粗収益 19.38200%																		
		日本財団 交付金	競走会 交付金	金融公庫 納付金	活性化																						
		約2.9%	1.218%	約1.0%		約0.5%																					
BP三日月	払戻 75%	法定交納付金	約5.618%				環境 整備費		委託料(運営経費・施設維持管理等)												粗収益						
		日本財団 交付金	競走会 交付金	金融公庫 納付金	活性化	1.000%	13.5%~15.5%												3%程度								
		約2.9%	1.218%	約1.0%		1.000%																					
BPみやぎ	払戻 75%	法定交納付金	約5.618%				環境 整備費		委託料(運営経費・施設維持管理等)												粗収益						
		日本財団 交付金	競走会 交付金	金融公庫 納付金	活性化	1.000%	13.5%~15.5%												2.75%程度								
		約2.9%	1.218%	約1.0%		1.000%																					
電話投票	払戻 75%	法定交納付金	約5.618%				事務委託料		システム利用料		粗収益																
		日本財団 交付金	競走会 交付金	金融公庫 納付金	活性化	3.025%	2.805%	13.550%																			
		約2.9%	1.218%	約1.0%																							
協力場	払戻 75%	法定交納付金	約5.618%				施設借上料(維持管理費)		開催経費		環境 整備費		回線 使用料		粗収益		4%~7%										
		日本財団 交付金	競走会 交付金	金融公庫 納付金	活性化	4.50%~6.05%	8.00%	0%~ 1.0%	1.0%	協力場分		唐津分		2.4%~ 4.9%		1.2%~ 2.8%											
		約2.9%	1.218%	約1.0%																							

- ・日本財団交付金 → モーターボート競走法第25条に規定されている日本財団への交付金です。
 - ・競走会交付金 → 同法第30条に規定されている競走会への交付金です。
 - ・活性化資金特別分担金 → モーターボート競走事業活性化資金制度設置要綱に基づき、全国モーターボート競走施行者協議会へ納付する分担金です。
- *施設借上料及び環境整備費は協力場によって率が異なります。
*回線使用料は定額のため、売上総額によって占める割合が変動します。

第3章 課題解決に向けた取り組み

②からつキャッシュバックポイントクラブ

電話投票会員の顧客管理及び購入動向分析を行い、電話投票の売上拡大を図るために、平成27年10月から電話投票キャンペーンをシステム化した会員登録制の「からつキャッシュバックポイントクラブ（からポクラブ）」を始めています。

今後も電話投票売上を伸ばす有効な施策である「からポクラブ」については、費用対効果の検証を行いながら、更なる会員数の増加に向けて取り組んでいきます。

(単位:人、百万円)

項目		年度							
		R6実績	R7見込	R8	R9	R10	R11	R12	
からポクラブ	会員数	年度末会員数	122,019	132,000	142,000	152,000	162,000	172,000	182,000
		伸び率	9.6%	8.2%	7.6%	7.0%	6.6%	6.2%	5.8%
	電話投票売上	売上額 (A)	18,403	19,772	22,893	18,887	22,683	22,219	22,679
		伸び率	0.6%	7.4%	15.8%	△17.5%	20.1%	△2.0%	2.1%
		売上率 (電投全体売上比) (A)/(C)	24.9%	25.4%	25.9%	26.4%	26.9%	27.4%	27.9%
	キャッシュバック	キャッシュバック額 (B)	276	356	412	340	408	400	408
		キャッシュバック率 (からポクラブ売上比) (B)/(A)	1.50%	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%
		キャッシュバック率 (電投全体売上比) (B)/(C)	0.35%	0.46%	0.47%	0.47%	0.48%	0.49%	0.50%
	電かボ 話らト 投票全 売レ 上体 の ス	総売上額 (C)	77,890	77,972	88,534	71,655	84,455	81,215	81,410
伸び率		3.7%	0.1%	13.5%	△19.1%	17.9%	△3.8%	0.2%	
1日平均売上		393	433	447	398	427	410	411	

※からポクラブの電話投票売上は、単勝、複勝、払連複を除く

③組織体制と人員配置

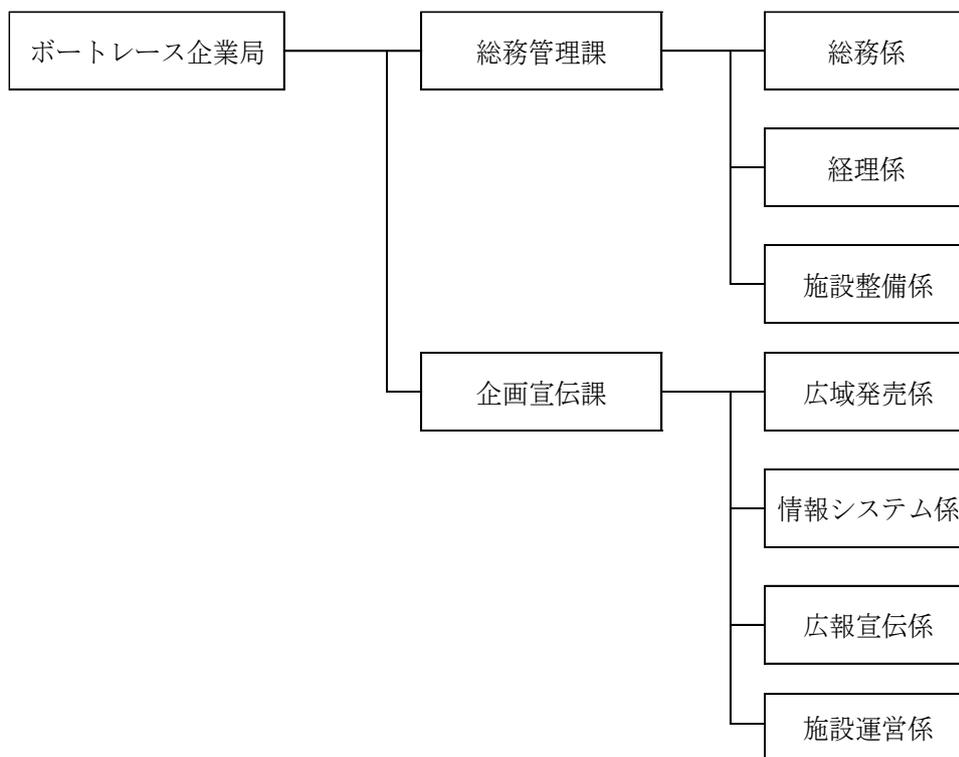
ア 組織体制

平成29年度に地方公営企業法に基づく管理者を設置して以降、経営方針に基づき管理者の指揮のもと、自立した組織としてモーターボート競走事業の運営を行っています。

令和4年度からは、企業局内のDXを推進するため、情報システム係を独立させました。

今後も必要に応じて柔軟な組織体制づくりをおこなってまいります。

【ボートレース企業局機構図】



イ 人員配置

A 職員

全国のボートレースファンへの魅力あるレースの提供、企業会計の経理処理、投票系情報システムの運用、施設の維持管理などの業務については、職員の専門知識と経験が求められることから、人材育成を図るために平成26年度からプロパー職員（専門職員）を採用してきました。引き続き、専門知識等を必要とする業務については、外部委託と比較検討しながら柔軟な考え方や発想力のある人材の採用と職員のスキルアップに努めます。

今後は、情報共有ツールや会計システムを見直し、デジタル技術を活用した一層の業務効率化を図ります。

また、市の人事部局とも調整を図り職員配置の体制を整え、ワークライフバランスの推進にも取り組めます。

区分		年度					
		R7	R8	R9	R10	R11	R12
	次長	1名	1名	1名	1名	1名	1名
	課長・参事	3名	3名	3名	3名	3名	3名
	総務係	3名	3名	3名	3名	3名	3名
	経理係	3名	3名	3名	3名	3名	3名
	施設整備係	4名	4名	4名	4名	4名	4名
	広域発売係	3名	3名	3名	3名	3名	3名
	情報システム係	2名	2名	2名	2名	2名	2名
	広報宣伝係	3名	4名	3名	4名	3名	3名
	施設運営係	3名	4名	3名	3名	3名	3名
	合計	25名 (8名)	27名 (8名)	25名 (8名)	26名 (8名)	25名 (8名)	25名 (8名)

()内はプロパー職員の数

B 会計年度任用職員

現在、一般事務及び警備業務において会計年度任用職員を雇用しています。

今後もそれぞれの業務内容を精査しながら計画的な雇用に努めます。

また、前述の職員同様にワークライフバランスの実現に向けた労働環境の向上にも引き続き取り組んでいきます。

区分		年度					
		R7	R8	R9	R10	R11	R12
本場	一般事務員	10名	8名	8名	7名	6名	6名
	技術指導員	2名	3名	2名	2名	2名	2名
	警備員	8名	8名	8名	8名	8名	8名
	計	20名	19名	18名	17名	16名	16名
三日月	警備員	4名	0名	0名	0名	0名	0名
みやき	警備員	4名	4名	4名	4名	4名	4名
合計		28名	23名	22名	21名	20名	20名

※ BTS三日月・BTSみやき・・・警備員以外は包括委託先で雇用

職員＋会計年度任用職員総計	53名	50名	47名	47名	45名	45名
---------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

第3章 課題解決に向けた取り組み

④市への繰出金

モーターボート競走事業の主たる目的である市への財政支援として、ボートレースからつの収益金から市の一般会計に繰出しを行っています。令和7年度までの累計額は940億円余となりました。

【繰出金額の推移】

(単位:千円)

年度	繰出金	年度	繰出金	年度	繰出金
～昭和30年度	103,152	昭和54年度	3,740,798	平成15年度	270,000
昭和31年度	60,000	昭和55年度	3,440,017	平成16年度	0
昭和32年度	56,300	昭和56年度	2,700,325	平成17年度	0
昭和33年度	40,000	昭和57年度	1,983,320	平成18年度	0
昭和34年度	42,000	昭和58年度	1,389,401	平成19年度	0
昭和35年度	21,500	昭和59年度	758,332	平成20年度	0
昭和36年度	60,000	昭和60年度	555,653	平成21年度	0
昭和37年度	57,500	昭和61年度	279,000	平成22年度	0
昭和38年度	55,000	昭和62年度	369,000	平成23年度	0
昭和39年度	15,000	昭和63年度	2,666,000	平成24年度	0
昭和40年度	100,000	平成元年度	2,464,000	平成25年度	0
昭和41年度	490,000	平成2年度	3,555,000	平成26年度	300,000
昭和42年度	466,000	平成3年度	3,650,000	平成27年度	300,000
昭和43年度	554,000	平成4年度	1,593,000	平成28年度	250,000
昭和44年度	628,000	平成5年度	1,563,000	平成29年度	300,000
昭和45年度	738,000	平成6年度	3,176,000	平成30年度	1,500,000
昭和46年度	985,000	平成7年度	2,537,000	令和元年度	0
昭和47年度	1,380,000	平成8年度	2,450,000	令和2年度	4,000,000
昭和48年度	1,840,000	平成9年度	2,550,000	令和3年度	3,000,000
昭和49年度	2,337,500	平成10年度	1,880,000	令和4年度	5,000,000
昭和50年度	2,442,155	平成11年度	1,260,000	令和5年度	4,000,000
昭和51年度	2,150,000	平成12年度	420,000	令和6年度	3,000,000
昭和52年度	3,600,000	平成13年度	590,000	令和7年度	4,250,000
昭和53年度	3,839,000	平成14年度	250,000	合計	94,049,953

第3章 課題解決に向けた取り組み

繰出金は、モーターボート競走事業の地域振興、地域貢献を広く知ってもらう観点から、「響創のまちづくり基金」及び「公共施設整備基金」に「モーターボート競走事業収益金枠」を設けて積み立てられており、小中学校の給食費無償化や子育て支援、教育環境の整備などに有効に活用されています。（詳細は別添活用事業資料参照）

なお、今後の収益金の使途については、施設の老朽化に伴う改修や社会環境の変化と顧客ニーズに合った設備投資など今後の施設整備計画に基づき、ボートレース場への設備投資を確保し、事業自体の存続に多大な影響を及ぼさない範囲内で、市への繰出金の目標額を設定しています。市への繰り出しについては、原則として決算確定後、利益処分の方法により次年度に行います。

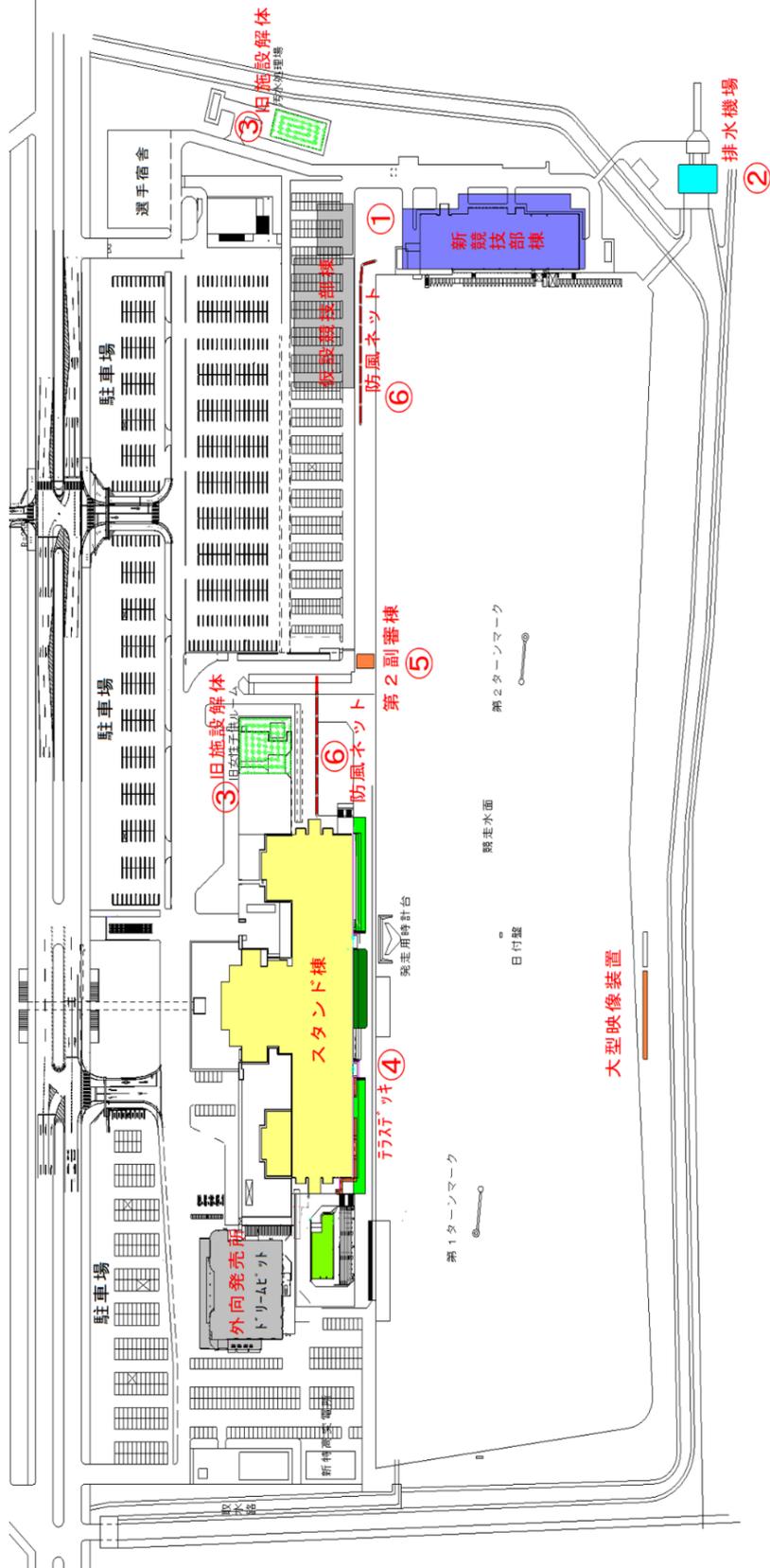
【今後の繰出金目標額】

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
繰出金	42.5億円 (実績)	35億円	35億円	35億円	35億円	35億円

※市への実際の繰出金については、今後の収益金の状況により、変動する場合がある。

4. 主な施設の整備計画

項目	日	計画年度						備考
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	
① 競技部棟の改築		●	●	●				レースを開催しながら改築工事を進めるため、工事期間中は仮設競技部棟にてレースを開催する
② 排水機場の施設改修		●	●	●	●			競走水面の排水施設（排水機場建屋、除塵機）の施設改修
③ 旧施設解体撤去・改修		●	●	●	●	●	●	旧女性子供ルーム及び汚水処理場の解体、跡地の改修
④ テラスデッキの新設		●	●	●				立見席を造成し、水面際の視線から間近にレースを観戦するテラス席を備えたデッキを新設
⑤ 第2副審棟の改築		●	●	●				築後50年経過し老朽化した第2副審棟の改築
⑥ 防風ネットの新設					●	●	●	仮設競技部棟設置、旧施設解体に伴う防風対策



5. 施設整備計画

区分	事業名	項目	場所	担当	概算事業費	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考	
施設 改修 等	スタンド棟												
	スタンド棟他周辺整備工事実施設計業務	委託料	スタンド	施設整備	12,500	9,630		2,900					
	スタンド棟他周辺整備工事	工事費	スタンド	施設整備	534,648	162,543	124,905	25,500	34,400	49,800	137,500	令和9年度：電気自動車充電設備 令和8年度：地下道改修、照明器具更新、映像設備改修	
	自家用発電機改修工事実施設計業務	委託料	スタンド	施設整備	12,232	12,232							
	自家用発電機改修工事	工事費	スタンド	施設整備	443,223		220,000	223,223				令和8年度：自家用発電機改修	
	TV放送室機器更新	委託料	スタンド	施設整備	16,200							16,200	JLC関連機器更新(映像送出制御、Jフレ制御、CGシステム他)
	投票設備改修工事	工事費	スタンド	施設整備	49,830	49,830							令和7～8年度：投箱設置
	投票設備改修工事施工監理他業務	委託料	スタンド	施設整備	4,125	4,125							
	屋外イベントエリア整備工事	工事費	スタンド	施設整備	12,760		12,760						令和8年度：イベントエリア改修(旧仮設食堂跡地)
	スタンド棟フリーWi-Fi設置基礎更新	備品購入費	スタンド	情報システム	11,286		11,286						
	TZS情報表示装置更新	備品購入費	スタンド	情報システム	18,215		18,215						
	競技部棟												
	競技部棟改修工事実施設計他業務	委託料	競技部棟	施設整備	9,372	9,372							
	競技部棟改修工事	工事費	競技部棟	施設整備	5,193,134	1,724,504	1,269,180	1,990,780					令和6年度～令和7年度：仮設競技部棟工事、電気室工事、他 令和7年度～令和9年度：新競技部棟工事、旧競技部棟解体工事
	競技部棟解体工事(旧施設・仮設解体)	工事費	競技部棟	施設整備		89,980	107,910	10,780					
	競技部棟改修工事施工監理他業務	委託料	競技部棟	施設整備	41,111	13,711	13,500	13,900					業務期間：令和5年度～令和9年度(5箇年継続費)
	発着ピット仮設運用	工事費	競技部棟	施設整備	70,400	70,400							ピット上屋増設(24基)→既設ピット移設
	発着ピット更新	備品購入費	競技部棟	施設整備	300,000			300,000					ピット新設(46基)
	ホートモーター架台更新	備品購入費	競技部棟	施設整備	34,101	17,653	16,448						令和7年度：ホート架台(25台)、モーター架台(25台) 令和8年度：ホート架台(20台)、モーター架台(20台)
	仮設競技部棟再整備設計業務	委託料	競技部棟	施設整備	4,796	4,796							令和8年度：仮設部再整備実施設計
	仮設競技部棟再整備	工事費	競技部棟	施設整備	600,000			200,000	400,000				令和9年度：仮設競技部再整備→用途変更
	競走水面												
	排水機場改修工事実施設計業務	委託料	排水機場	施設整備	7,064		7,064						令和8年度：排水機場建屋他改修工事実施設計
	排水機場改修工事(排水機場建屋、ポンプ施設等)	工事費	排水機場	施設整備	215,493	20,493	52,000	143,000					令和7年度：排水機場他水位計更新工事 令和9年度～令和10年度：排水機場管理棟・建屋他改修工事
排水機場除塵機改修工事	工事費	排水機場	施設整備	374,000	163,000	211,000						令和7年度：除塵機、ネットファンペーパー製作、仮設工 令和8年度：除塵機撤去・設置	
水上標識改修工事	工事費	競走水面	施設整備	114,345	114,345								
競走水面照明工事、大時計照明改修工事	工事費	競走水面	施設整備	57,090		57,090							
防風ネット設置工事実施設計業務	委託料	競走水面	施設整備	10,000			10,000					令和9年度：女性子供ルーム前	
防風ネット設置工事	工事費	競走水面	施設整備	410,000					110,000	300,000		令和10年度：仮設競技部棟、令和11年度：女性子供ルーム前	
第2副審棟改修工事	工事費	競走水面	施設整備	124,482		8,600	115,882						
第2副審棟改修工事に係る積算業務及び監督員支援業務	委託料	競走水面	施設整備	6,523		3,295	3,228						
第2副審棟解体工事(旧施設)	工事費	競走水面	施設整備	28,000		4,800	23,200						
対岸大型映像装置改修工事実施設計業務	委託料	対岸	施設整備	2,651	2,651							旧対岸大型映像装置閉鎖工事設計	
観音橋増設台整備工事	工事費	対岸	施設整備	48,400	48,400							対岸観音橋増設台整備	
管理棟新設工事に係る積算業務及び監督員支援業務	委託料	対岸	施設整備	795	795								
管理棟新設工事	工事費	対岸	施設整備	50,652	50,652								
テラスデッキ他整備工事実施設計業務	委託料	競走水面	施設整備	7,931	6,050	1,881						テラスデッキ工事(1.8m地盤嵩上)、立見席工事(1.0m地盤嵩上)、 立見デッキ工事、スロープ工事(車椅子対応)	
テラスデッキ他整備工事	工事費	競走水面	施設整備	165,879	65,879		100,000						

第3章 課題解決に向けた取り組み

(単位:千円)

区分	事業名	項目	場所	担当	概算事業費	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
その他												
	フリームピット改修工事	工事請負費	フリームピット	施設整備	106,730	38,460	50,370	8,100	4,800	0	5,000	映像機器、監視設備等の改修工事
	フリームピット改修工事(委託)	委託料	フリームピット	施設整備	10,153		10,153					
	フリームピット太陽光発電設備工事	工事請負費	フリームピット	施設整備	99,990	99,990						発電容量:85kw ※ポーターズ脇太陽光発電システム設置事業 (BOATRACE協賛会支援事業)
	駐車場周辺整備工事	工事請負費	駐車場	施設整備	229,602	63,602	40,000	96,000	96,000	0	30,000	令和8年度:多行周辺・身障者用駐車場整備 令和9年度:屋外サインエージ工事 令和10年度:北側駐車場整備工事 令和12年度:選手駐車場整備
	ポーターズ場内敷地測量業務	委託料	全体	施設整備	9,399	9,399						
	女性子供室解体撤去工事	工事請負費	スタンド	施設整備	58,740				58,740			建物建設年:昭和55年度 建物構造:鉄骨2階建
	下水道マンホールポンプ設置工事実施設計業務	委託料	汚水処理場	施設整備	5,000		5,000					令和9年度:汚水処理場廃止に伴うマンホールポンプ設置工事設計
	下水道マンホールポンプ設置工事	工事請負費	汚水処理場	施設整備	50,000				50,000			令和10年度:汚水処理場流入管マンホールポンプ設置工事
	汚水処理場解体・整備工事設計業務	委託料	汚水処理場	施設整備	6,000				6,000			令和10年度:汚水処理場解体及び跡地整備計画設計
	汚水処理場解体工事	工事請負費	汚水処理場	施設整備	110,000					110,000		令和11年度:汚水処理場解体
	発売機器											
	TZS CVCP更新	備品購入費	スタンド	情報システム	172,480	172,480						
	TZS UPS(5KVA)更新	備品購入費	ミニット	情報システム	3,905	3,905						
	TZS UPS(5KVA)更新	備品購入費	オアノ呼び	情報システム	3,905	3,905						
	スタンド種投票窓口増設	備品購入費	スタンド	情報システム	300,740	21,450	279,290					
	投票自動端末機更新(K7:42台,L1:14台)	備品購入費	スタンド	情報システム	255,000			85,000	85,000	85,000		
	キャッシュレスシステム更新	備品購入費	スタンド	情報システム	200,000			200,000				
	競走場用地											
	競走場用地地上補設賃料	その他	-	雑務	7,218	1,203	1,203	1,203	1,203	1,203	1,203	平成23年度~令和12年度(20年間設定)
	工事請負費 小計(1)				9,147,398	2,698,476	2,130,217	2,589,465	696,940	859,800	172,500	
	委託料 小計(2)				165,882	67,965	40,689	35,028	6,000	0	16,200	
	備品購入費 小計(3)				1,299,632	219,393	325,239	585,000	85,000	85,000	0	
	その他 小計(4)				7,218	1,203	1,203	1,203	1,203	1,203	1,203	
	合計				10,620,130	2,987,037	2,497,348	3,210,696	789,143	946,003	189,903	

第4章 収支見通し

1. 試算条件

本計画で掲げている施策実施後の令和6年度から令和12年度までの「収支見通し」については、次ページ以降のとおりです。

なお、算定にあたっての試算条件は、次のとおりです。

(単位:百万円)

年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
項目								
市営レース 開催日数 ()内は モーニング		198日 (189日)	180日 (162日)	198日 (186日)	180日 (168日)	198日 (186日)	198日 (180日)	198日 (186日)
G II以上と 女子戦の 開催予定	周年 ウェスタンヤング 3Days 女子戦 2節	周年 九州地区戦 MB大賞 女子戦 2節	周年 SGクラシック 女子戦 2節	周年 MB大賞 女子戦 2節	周年 SG競走 女子戦 2節	周年 九州地区戦 ダイヤモンドカップ 女子戦 2節	周年 PGI競走 女子戦 2節	
市営レース売上		92,710	92,534	105,406	84,965	100,704	96,616	97,025
1日平均売上		468	514	532	472	509	488	490
他場レース売上		13,055	13,119	12,909	13,455	13,090	13,167	13,072
各 発 売 場 の 営 業 日 数	スタンド	215日	180日	198日	180日	198日	198日	198日
	外向発売所	320日	345日	353日	353日	353日	353日	353日
	ミニット	343日	341日	353日	353日	353日	353日	353日
	オラレ呼子	231日	220日	240日	240日	240日	240日	240日
	BTS三日月	360日	365日	365日	366日	365日	365日	365日
	BTSみやき	363日	362日	365日	366日	365日	365日	365日

その他の主な算定条件

- ・令和6年度 ⇒ 決算額
- ・令和7年度 ⇒ 決算見込み額
- ・令和8年度 ⇒ 予算計上額
- ・令和9年度以降 ⇒ 本計画実施に基づく見込額
- ・返還金は売上の2.5%で積算
- ・各種交付金等については、令和6年度と同様の率で積算

第4章 収支見通し

2. 収益的収支計画

(単位:百万円)

項目	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ボートレース事業収益 (A)		96,573	97,878	111,228	89,730	105,797	101,617	102,020
営業収益		96,508	97,799	111,034	89,559	105,634	101,456	101,859
舟券発売金		94,111	95,310	108,568	87,089	103,221	99,031	99,451
他場レース発売収入		2,290	2,381	2,348	2,360	2,296	2,309	2,293
その他営業収益(入場料、時効収入)		107	109	118	110	117	115	116
営業外収益		64	79	194	171	162	161	161
特別利益		0	0	0	0	0	0	0

(単位:百万円)

項目	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ボートレース事業費用 (B)		88,974	92,065	103,368	83,942	98,667	94,788	95,336
営業費用		88,971	91,210	103,240	83,882	98,594	94,774	95,322
開催費		86,187	88,256	99,525	80,890	94,857	91,678	91,730
他場レース発売経費		1,523	1,585	1,565	1,582	1,562	1,567	1,560
管理費(総係費)		554	642	668	650	660	671	687
減価償却費		700	717	690	750	851	849	834
資産減耗費		7	10	10	10	10	10	10
特別競走開催費		0	0	783	0	654	0	501
営業外費用		3	755	5	4	4	4	4
特別損失		0	90	113	46	59	0	0
予備費		0	10	10	10	10	10	10
資本的支出(4条)の消費税 (C)		120	262	224	271	68	90	72

※令和7～9年度の特別損失は競技部棟新築に伴うもの

※令和9年度の特別損失については第2副審棟解体分も含まれる。

※数値については、表示桁数の調整、四捨五入の関係で合わない場合がある。

純利益

(単位:百万円)

項目	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
純利益 (A) - (B) - (C)		7,479	5,551	7,636	5,517	7,062	6,739	6,612

【参考】純利益の推移(H29～R5)

(単位:百万円)

項目	年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
純利益		3,009	2,636	4,086	4,775	6,113	5,830	7,026

第4章 収支見通し

3. 資本的収支計画

(単位:百万円)

項目 \ 年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
資本的収入	0	50	0	0	0	0	0
出資金返還金	0	0	0	0	0	0	0
助成金など	0	50	0	0	0	0	0

資本的支出	1,617	3,096	2,673	3,377	930	1,146	390
建設改良費	1,317	2,896	2,473	3,177	730	946	190
設備改良・備品購入費等	1,317	2,896	2,473	3,177	730	946	190
リース資産購入費	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券	300	200	200	200	200	200	200
企業債償還金	0	0	0	0	0	0	0

※数値については、四捨五入及び桁数の調整の関係で合わないことがある。

4. 内部保有資金残高

(単位:百万円)

項目 \ 年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
年度末内部留保資金残高	20,823	20,789	23,148	22,796	26,343	29,372	32,998

【算定方法】

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 前年度末内部留保資金残高	17,164	20,823	20,789	23,148	22,796	26,343	29,372
② 消費税資本的収支調整額	120	262	224	271	68	90	72
③ 積立金 建設改良積立金等	4,100	4,300	2,506	4,136	2,017	3,562	3,239
④ 減価償却費	700	717	690	750	851	849	834
⑤ 損益勘定 資産減耗費	7	10	10	10	10	10	10
⑥ 留保資金 長期前受金戻入	△ 30	△ 28	△ 28	△ 23	△ 14	△ 13	△ 12
⑦ 特別損失等	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 未処分利益 当年度純利益	7,479	5,551	7,636	5,517	7,062	6,739	6,612
⑨ 利益剰余金 建設改良積立金等積立額	△ 4,100	△ 4,300	△ 2,506	△ 4,136	△ 2,017	△ 3,562	△ 3,239
⑩ 資本的収支不足額	△ 1,617	△ 3,046	△ 2,673	△ 3,377	△ 930	△ 1,146	△ 390
⑪ 一般会計繰出金	△ 3,000	△ 3,500	△ 3,500	△ 3,500	△ 3,500	△ 3,500	△ 3,500
年度末内部留保資金残高	20,823	20,789	23,148	22,796	26,343	29,372	32,998

※一般会計繰出金は、計画上の見込み額であり決定額ではない。



令和8年2月

発行、編集：唐津市モーターボート競走事業

〒847-0031

佐賀県唐津市原1116番地

TEL 0955-77-1311

FAX 0955-77-3537

URL <http://www.boatrace-karatsu.jp/>